

十一月十七日(日)に、羽布ダム管理所(豊田市羽布町鬼ノ平)にて、「農業農村整備事業広報活動」が、「農と水のふれあいひろば」として、プロジェクト水土里による主催・三河湖共栄会の協賛により開催されました。

本活動は、羽布ダム竣工50周年関連イベントとして開催されたもので、会場内で、「羽布ダム操作室、監査廊見学会」「田んぼの生きもの水族館」「パネル展示」等により、農業農村整備事業の重要性等について、子供を中心に広く一般の方々の理解を深めていただくことを目的に、参加型イベントやパネル展示等が実施されました。

当研究会では、参加型イベントの一環として、「測量実体験コーナー」を開設し、測量機器への触れあいを通じて、多くの子供とその保護者の方々に、測量への理解を深めていただきました。当日は、紅葉の色づき始めと、穏やかな小春日和と相まって、25

0名の多くの方々に体験していただくことが出来ました。体験していただいた方々に、工事現場・道路等で行われている作業が、「測量作業」で何が測れ、工事の重要な基礎資料となることを理解していただきました。



体験状況

碑文が語る
愛知の土地改良
「羽布ダム建設記念碑」



場所 豊田市羽布町
寸法 H 2,170×B 1,400 (mm)
建設 昭和 38 年 3 月
碑文 「三河湖」
書 桑原 幹根

国営の矢作川農業水利事業として、矢作川支流の巴川上流に利水ダム(かんがい面積約7,700ha)として建設されました。人造湖ですが、愛知国定公園の玄関口に位置することより、多くの行楽客に親しまれるようにと、時の愛知県知事が「三河湖」と命名しました。(財)ダム水源地環境整備センターにより、平成17年2月に全国2,800あるダム湖のなかから「ダム湖百選」に認定されました。

平成 25 年 企画研修会開催



梶田 義之

九月十二日(木)に愛知県土地改良会館大会議室において、企画研修会を開催しました。
「個人や家庭でできる災害へのそなえについて」
愛知県防災局防災危機管理課 啓発グループ 主任 高柳幸央

「農業・土木と盛田味の館の つながり」
盛田株式会社 味の館 館長 梶田 義之

特にこの頃関心の高い災害への備えとして、普段の生活の中での防災意識の向上と、具体的な対策についての講演でした。なお、この講演は県で開催している、「県政お届け講座」(一五五講座)の内の一講座です。

「ねのひ大吟醸」は、8年連続「全国新酒鑑評会金賞」を受賞しており、地元常滑産の酒造好適米と、良質な愛知用水の水による酒造りの歴史の講演でした。先人の農業土木技術者の技術により、地元産業に少しでも貢献している姿を垣間見ることができました。



研修会会場